

# 根室半島の湿原群を視察

党議員団は4月25日、会派紘の久保田陽議員、須崎和貴議員とともに、根室半島の湿原群を視察しました。

民宿の経営者であり、野鳥や根室の自然などのガイドをされている高野建治氏から説明を受けました。

今回の視察は、須崎議員が高野氏から半島湿原群の貴重性や現状などの話を事前に聞き、それならば実際に見てみようというところで、会派紘さんから私たち党議員団がお願いを受け実現したものです。

## 根室半島の湿原群とは

本年3月の定例会議会で、波岸教育長は、教育行政方針の中で次のように述べています。

「根室半島の湿原群は、環境省が指定する『日本の重要湿地500』に選定され、中でも歯舞湿原は、日本で唯一の低標高で形成されたブランケット型泥炭地という希少か

## 高層湿原とは

高層湿原を辞書で引くと、「低温・過湿で塩類の乏しい貧栄養の所にできる湿原。ミズゴケが多く、泥炭化が進んで盛り上がった所ができる。高山や高緯度地方に多い」（小学館・大辞泉）とあります。

盛り上がっている周辺からの水の流入がなく、水の供給は雨・雪に限られます。そのため普通は次第

に乾燥していきませんが、根室、特に半島地区は海霧が多いので、湿原が保たれています。高層湿原には氷河期の遺存種など貴重な動植物が生息・生育する場合が多く、保送上重要であるといわれています。

## 双沖地区の湿原



写真ではわかりづらいのですが、中央の濃い色の部分に工事用と思われる杭が打ち込んであります。周囲には風力発電用の風車があるので、ここにも建てられるのでしょうか。高野氏によると、本州ではkm以上の高地でないともみられない植物が、ここには普通にあるそうです。

## 歯舞地区の湿原



広大な、手つかずの湿原が広がっていたはずですが、ここにも工事車両が入り、湿原の一部が掘り返されています。風車か太陽光パネルか、それとも全く別のものが造られるのか。いずれにしても、途方もなく長い時間をかけて形成されてきた貴重な湿原が、人の手によって一瞬にして失われてしまいます。

高野氏は、雨は湿原によってミネラルを含む水となり、海に流れ、豊かな漁場を形成するとおっしゃいました。であれば、根室の主要産業である漁業にとっても、湿原は欠かせない存在であると言えます。

視察を終えて感じたこと  
基本的にCO2を排出しない再生可能エネルギーの活用・推進は、気候危機打開のためにも大切なことです。しかし、最近の根室における太陽光パネルや風車の設置に関しては、景観や環境保全の観点から問題があることを、私たちはもちろん、他の会派の議員も指摘しています。

今回の視察で、半島地区に設置される（設置された）風車や太陽光パネルが、環境、特に湿原に重大な影響を及ぼしている状況を目の当たりにしました。高野氏は、根室の湿原は「オンリーワン」だと言います。「この環境を後世に残すのが我々の使命だ」とも言われました。その通りだと思いません。

前段に紹介したとおり、教育委員会は今年度、湿原の保全に向けて取り組みを始めます。私たちも、市民のみなさんと力を合わせ、根室の貴重な自然を守るために全力を尽くす決意です。